2026 年 11 月 20 日
野村不動産株式会社
ヤンマーマリンインターナショナルアジア株式会社

東京の水辺の新たな体験価値を創出する取り組み

「BLUE FRONT SHIBAURA」のラウンジシップを共同開発

―貸切利用・季節に合わせた特別なクルージングを提供予定―







野村不動産株式会社（本社：東京都港区／代表取締役社長：松尾 大作）（以下「野村不動産」）とヤンマーマリンインターナショナルアジア株式会社（本社：大分県国東市、社長：北村 太郎）（以下「ヤンマーマリンインターナショナルアジア」）は、野村不動産が推進する大規模複合開発「BLUE FRONT SHIBAURA」において水辺と都市をつなぎ、東京の新たな体験価値を創出することを目指し、『BFS LOUNGE SHIP/LX56AZ』（以下「BFS ラウンジシップ」）を開発しました。

BFS ラウンジシップは、プライベート性の高いラグジュアリーな空間として取引先との会食や商談、特別なお祝いや懇親会など、さまざまな用途での利用が可能です。また今後は、ホテル「フェアモント東京」との連携による飲食サービスや花火などの季節イベントにあわせた貸切クルージングも 12 月以降より順次展開予定です。

1．BFS ラウンジシップ開発背景

東京は東京港や運河など豊かな水辺空間を有する都市である一方、陸上交通の発展に伴い、水辺は次第に都市や人々の生活動線から切り離され、その活用は十分に進んでいませんでした。野村不動産は、「BLUE FRONT SHIBAURA」の開発を通じて、これらの課題に対し、水辺と都市を再び結び付けることで国際ビジネス・観光拠点の形成を目指しております。東京港を目の前に望む立地特性を活かし、水辺ならではの価値を都市活動へ取り込む新たなまちづくりに挑戦しております。その実現に向けた象徴的な取組みとして開発したのが BFS ラウンジシップです。都心の運河は橋梁による高さ制限や航路条件など多様な制約を有しており、これらの条件に対応しながら、都市空間とシームレスにつながる上質な移動体験を提供できる船舶はこれまで存在していませんでした。そこで野村不動産と船舶開発技術を有するヤンマーマリンインターナショナルアジアは、水辺と都市をシームレスにつなぐ新たなモビリティとしてラウンジシップを共同開発いたしました。なお公益財団法人日本デザイン振興会主催「2026 年度グッドデザイン賞」において、特に高い評価を得た 100 件に贈られる「グッドデザイン・ベスト 100」に選出されました。（2026 年 10 月 15 日報道発表資料： https://www.nomura-re.co.jp/news/005003.html）

２．BFS ラウンジシップの特徴

（１）都会の水上体験に特化したフルオーダーメイド艇

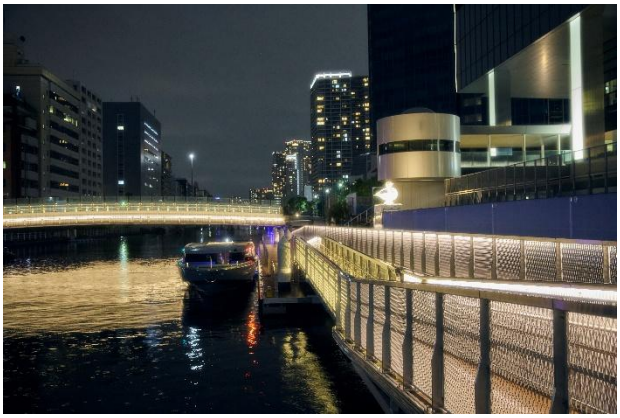
橋桁の高さや水深など、都心の運河特有の厳しい制約に対応しながら、ホテルから続く上質な体験を実現する船体づくりには、ヤンマーマリンインターナショナルアジアが培ってきた豊富な造船技術とネットワークが最大限に生かされています。船内は、船体強度を確保しつつ、窓を可能な限り大きく設けることで、開放的な眺望と自然光を取り込む空間としました。

また、ヤンマー8LV マリンエンジンを 2 基搭載し、運河内での安定した低速航行に加え、東京湾での軽快なクルージングも楽しめます。さらに、船体の揺れを軽減する安定化装置「Smartgyro」を採用し、都心の水辺を快適に周遊できる環境を実現しています。

(2)「BLUE FRONT SHIBAURA」からシームレスにつながる乗船体験

BFS ラウンジシップは、「BLUE FRONT SHIBAURA」内の船着き場および水辺複合施設「Hi-NODE」から乗船いただけます。施設から船着き場までを一体的に計画することで、水辺へと自然につながる体験を創出しています。





(3) ホテルクオリティの上質な船内空間

BFS ラウンジシップの船内は、「BLUE FRONT SHIBAURA」内に開業する「フェアモント東京」との体験の連続性を意識し設計しました。定員を 12 名に限定したプライベート性の高い空間とし、取引先との会食や商談、企業表彰の副賞プログラムなど、さまざまな用途での利用を想定しております。また、厨房およびトイレを完備しており、ケータリングを含む料飲サービスの提供が可能です。「フェアモント東京」との連携による飲食サービスのほか、会食やレセプション、貸切パーティーなど、多様なシーンに対応し、水辺ならではの特別な時間を演出します。





3．BFS ラウンジシップのクルージング

BFS ラウンジシップは、野村不動産と東京湾クルージング㈱が運航、「BLUE FRONT SHIBAURA」および日の出客船ターミナル「Hi-NODE」等を発着拠点とし、東京港や運河など、東京の水辺の魅力を体感いただける周遊運航を行います。

①12 月週末 お台場花火クルーズ

お台場海浜公園周辺で毎年開催される花火イベントに合わせた特別運航です。
船上では、フリーフロードリンクと、軽食をご用意。ゆったりとした船内から冬の澄んだ夜空に輝く花火と都心の夜景を眺めるひとときを提供します。サービス内容およびご予約方法などの詳細は、決定次第 BFS ラウンジシップ WEB サイトにてお知らせいたします。

【運航日時】12 月 5 日（土）、12 日（土）、19 日（土）、26 日（土）各日 18：30～19：30
【航　　路】芝浦～お台場周遊


お台場花火イメージ


フリーフロードリンクと軽食のイメージ

②1 月～ラグジュアリーエクスペリエンスクルーズ

フェアモント東京のサービススタッフが乗船し、ホテルが手掛ける料理やアルコールを含むドリンクを船上でご提供します。ラグジュアリーホテルならではの上質なサービスと優雅なおもてなしをご体験ください。サービス内容およびご予約方法などの詳細は、決定次第 BFS ラウンジシップ WEB サイトにてお知らせいたします。

【運航日時】土日限定 ※空き状況に応じてのご案内となります。
【航　　路】芝浦～お台場周遊


ドリンクイメージ

【詳細は以下の BFS ラウンジシップ WEB サイトをご覧ください。】
https://www.bluefrontshibaura.com/lp/bfs-lounge-ship/

【野村不動産グループ】

国内外において住宅、都市開発、資産運用、仲介・CRE、運営管理など幅広い領域で事業を展開する総合不動産デベロッパーです。

持株会社である野村不動産ホールディングス傘下の 20 社を超えるグループ会社が、不動産のデベロップメントからサービス・マネジメントまで幅広い事業を展開しています。2030 年ビジョン「まだ見ぬ、Life & Time Developer へ ― 幸せと豊かさを最大化するグループへ ―」のもと、人々の生活（Life）と時間（Time）に寄り添いながら、新たな価値創造に取り組んでいます。

【ヤンマーマリンインターナショナルアジア株式会社】

ヤンマーマリンインターナショナルアジア株式会社は、半世紀以上にわたり培ってきた造船技術と、ヤンマーのエンジン・ドライブ技術を融合し、プレジャーボート、FRP 漁船、特殊船、海洋機器の開発・製造およびアジア地域での販売・サービスを展開しています。

エンジン、システム、舟艇を一体で開発・製造できる強みを生かし、お客さまの多様なニーズに応えるとともに、環境に配慮した次世代舟艇の開発や、海で過ごす豊かな時間を提案する新たなマリンエクスペリエンスの創出に取り組んでいます。

※参考：BLUE FRONT SHIBAURA 概要

BLUE FRONT SHIBAURA は、野村不動産株式会社と東日本旅客鉄道株式会社が共同で推進している国家戦略特別区域計画の特定事業で、浜松町ビルディング（東芝ビルディング:東京都港区芝浦 1-1-1）の建替事業として、高さ約 230m のツインタワーを整備いたします。南側 1 棟目の「TOWER S」 は 2025 年 9 月に全体開業し、北側 2 棟目の「TOWER N」は 2030 年度竣工予定です。区域面積約 4.7ha、延床面積約 55 万㎡の、オフィス・ホテル・商業店舗・住宅を含む、約 10 年間に及ぶ大規模複合開発です。

事業主体	野村不動産株式会社 東日本旅客鉄道株式会社
施工者	TOWER S:清水建設株式会社 TOWER N:未定
設計者	株式会社槇総合計画事務所、清水建設株式会社 オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ ジャパン・リミテッド、株式会社日建設計
所在	東京都港区芝浦一丁目 1 番 1 号
区域面積	約 47,000 ㎡
延床面積	約 550,000 ㎡
主用途	オフィス・ホテル・商業店舗・共同住宅・駐車場他
建物の最高高さ	約 230m
階数	TOWER S:地上 43 階　地下 3 階 TOWER N:地上 45 階　地下 3 階
着工 / 竣工	TOWER S:着工 2021 年 10 月 竣工 2025 年 2 月 TOWER N:着工 2027 年度（予定） 竣工 2030 年度（予定）

